

平成26年12月

各 位

八戸市東京事務所長

## 八戸レポートの送付について

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

「八戸レポート 平成26年12月号」をお送りいたしますので、ご高覧くださいますようお願いいたします。

さて、年明け1月9日(金)～18日(日)の10日間、東京ドームで、『ふるさと祭り東京ー日本のまつり・故郷の味ー』が開催されます。全国各地の伝統ある祭りと特色あるグルメが楽しめる国内最大級のイベントです。今回は、八戸を代表する冬の伝統芸能 八戸えんぶり、そして、一斉歯打ちでおなじみの八戸法霊神楽も参加する予定です。

皆さまお誘い合せの上、是非お越しく下さい！

記

### 『ふるさと祭り東京ー日本のまつり・故郷の味ー』

○ 日 時：平成27年1月9日(金)～18日(日)

1/9(金)…11:00～21:00 / 10(土)11(日)12(月・祝)…10:00～20:00 / 13(火)…10:00～19:00  
14(水)…10:00～21:00 / 15(木)…10:00～19:00 / 16(金)…10:00～21:00  
17(土)…10:00～20:00 / 18(日)…10:00～18:00 (※入場は閉場の30分前まで)

○ 場 所：東京ドーム

○ 入場料(すべて税込)

- ・当日券 1,600円 (前売1,400円) [期間中有効]
- ・平日限定当日券 1,300円 (前売1,000円) [1月9日・1月13～16日有効]
- ・イブニング券 1,100円 [16時以降、会場窓口にて販売]

※ JR東日本の主なみどりの窓口、びゅうプラザ、または各プレイガイド等で販売中

※ 小学生以下のお子様は、大人1名の付き添いにつき4名まで無料

八戸市東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-2 全国都市会館5階

電話 (03) 3261-8973 / FAX (03) 3239-6723

E-mail: tokyo@city.hachinohe.aomori.jp

# 八戸12月号 レポート

平成26年11月の八戸市内での出来事や、八戸市に関連する情報をお届けします。

## 【行政】

| No. | 項目                          |
|-----|-----------------------------|
| 1   | 八戸市 中核市移行を目指し、暫定保健所を分散設置    |
| 2   | 八戸駅前検討委員会 接続、安全性を重視し西口正面に広場 |
| 3   | 八戸市民病院 緩和ケア病棟の整備に向けて初の検討会開催 |
| 4   | 「土曜授業」実施せず 八戸市教委が方針決定       |

## 【産業】

| No. | 項目                           |
|-----|------------------------------|
| 5   | 八戸酒造で新酒造り本格化 ～芳醇な香り ほのかに漂う～  |
| 6   | 2016年青森フェア開催に向けベトナム視察        |
| 7   | アパマンショップネットワーク 八戸市、県と立地協定    |
| 8   | 八戸港貿易額 前年同月比36.1%増で、8ヶ月連続の伸び |
| 9   | マネックス証券八戸事業所 40人増で120人体制へ    |

## 【地域】

| No. | 項目                                   |
|-----|--------------------------------------|
| 10  | 「女性を議会へ！全国キャラバン」シンポジウム マリエントで開催      |
| 11  | 八戸地区 新産業都市指定50周年祝賀会開催                |
| 12  | 全国水産加工品総合品質審査会 武輪水産「しめさば青森県産特大」農水大臣賞 |
| 13  | 「みろく横丁」限定 “ホッキせんべい汁” 開発中             |
| 14  | 津波で漂着した大久喜漁港の鳥居 米国より返還へ              |
| 15  | ワイン産業創出フォーラム開催 八戸のブドウ栽培の課題を探る        |
| 16  | ～種差海岸に名物土産を～ 種差小の児童らがお菓子づくりに挑戦       |

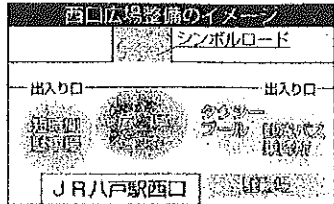
## 【文化・スポーツ】

| No. | 項目                                  |
|-----|-------------------------------------|
| 17  | 「科学の甲子園」八戸高Aチームが初優勝 全国大会出場へ         |
| 18  | 八戸前沖さばアイデア料理コンテスト 長瀬さん「旨みリソット」グランプリ |
| 19  | 自動車整備グランプリ 塗装部門で八戸の柳沢さんが全国3位！       |
| 20  | ユートリー新商品人気コンテスト 「八戸さばスパイシーマリネハム」が1位 |
| 21  | 長根リンクで製氷作業開始 夜を徹して純度の高い氷作り          |
| 22  | 八戸オリジナルアニメ「はちのへごっこ「ハマネコ」」完成         |

## 【県内】

| No. | 項目                              |
|-----|---------------------------------|
| 23  | 青森県産米新品種 「青天の霹靂（へきれき）」に名称決定     |
| 24  | 東北6県で大規模な防災訓練 「みちのくALERT2014」実施 |
| 25  | 障がい者雇用 最多2592人 11年連続で増加         |
| 26  | 県内私立中高生調査 学費滞納2.8% 増加傾向で推移      |
| 27  | 火山予地連が緊急提言 常時監視対象火山の観測態勢強化へ     |

【行政】

| No. | レポート  |
|-----|---|
| 1   | <p><b>八戸市 中核市移行を目指し、暫定保健所を分散設置</b></p> <p>八戸市が2016年度の移行を目指している中核市に関し、暫定的な保健所を市庁(内丸1丁目)と市下水道事務所(江陽3丁目)に設置する方針であることが分かった。中核市移行には、市独自の保健所が必要。広いスペースを確保できる市有施設がないことから、機能は分散。一方、市民がアクセスしやすい場所として市庁を候補に挙げた。今後、業務内容や職員の人数を精査し、機能分担を決める。現在、八戸保健所(尻内町)が担っている業務のうち、八戸市分が県から移譲される予定。</p>                           |
| 2   | <p><b>八戸駅前検討委員会 接続、安全性を重視し西口正面に広場</b></p> <p>八戸市は11月26日、八戸駅前広場整備基本計画の検討委員会の第2回会合を開き、西口広場の基本的な整備方針を確認した。駅舎正面は広場とし、それを挟む形で自家用車の駐車場と、観光バスやタクシーの乗降所を配置。“シンボルロード”となる都市計画道路との接続や安全性を重視した。次回会合で、駐車台数を含めて具体的な計画を取りまとめる。</p>  |
| 3   | <p><b>八戸市民病院 緩和ケア病棟の整備に向けて初の検討会開催</b></p> <p>青森県南では初となる緩和ケア病棟の整備に向けて、八戸市立市民病院は11月27日、検討会の初会合を同病院で開いた。東北で緩和ケアを設置するのは16病院。県内では青森市の青森慈恵会病院と、藤崎町のときわ会病院の2カ所にあるが、県南地方にはない。末期がん患者が最期の時をより良く過ごせる環境を整えるため、設置場所や病床数などを協議し、構想に反映させる考えである。</p>   |
| 4   | <p><b>「土曜授業」実施せず 八戸市教委が方針決定</b></p> <p>学校設置者の判断で実施できるようになった「土曜授業」の可否について、八戸市教委は11月28日の定例会で、実施しない方針を決めた。現行で授業時間が十分に確保されている上、部活動や地域活動で土曜日を有意義に活用していることなどを理由に判断した。教育の充実に向けた取り組みについて、伊藤博章教育長は「地域密着型教育を充実させて、子どもたちを育てていくことが大事だ」と強調している。</p>  |

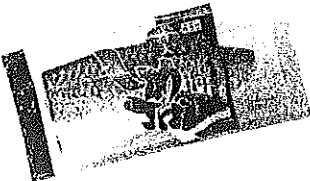


【産業】

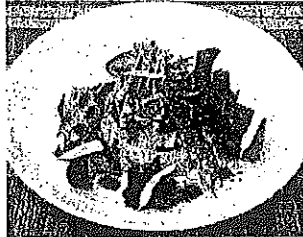
| No. | レポート   |
|-----|--|
| 5   | <p><b>八戸酒造で新酒造り本格化 ～芳醇な香り ほのかに漂う～</b></p> <p>「陸奥八仙」や「陸奥男山」などの銘柄で知られる八戸酒造で、今季の酒造りが順調に進んでいる。酒造りは9月下旬にスタートし、新酒の芳醇な香りがほのかに漂う酒蔵で、来年4月まで蔵人(くらびと)らが作業に励む。杜氏の駒井さんは「適度にうまみがあり、新酒らしいフレッシュな香りに仕上がった。自信を持ってお勧めします」と話している。</p>  |
| 6   | <p><b>2016年青森フェア開催に向けベトナム視察</b></p> <p>八戸市などが、ベトナムでの青森フェア開催に向け11月2～6日にホーチミン市などを訪れ、「イオンモールベトナム」の1、2号店で、海産物をはじめとした生鮮食料品などの販売状況を視察した。また、市海外経済協力員で、イオンモールベトナムリーシングデパートメントGMの中谷直人さんらと意見交換した。2016年1月ごろをめどに、ホーチミン市の日系ショッピングセンターでフェアを開きたい考えで、県産農林水産物について、経済発展が著しい東南アジアへの輸出拡大を目指している。</p> |

|   |   |
|---|---|
| 7 | <p><b>アパマンショップネットワーク 八戸市、県と立地協定</b></p> <p>賃貸住宅仲介店舗「アパマンショップ」を全国でフランチャイズ展開する「アパマンショップネットワーク」(本社・東京)が11月17日、県、八戸市と立地協定を結んだ。十三日町のヴィアノヴァビルに「八戸登録センター」を構え、賃貸物件情報のデータ登録・更新を行う。同日に市庁で行われた調印式で川森社長は「生産人口が減る中で、地方の労働力、特に女性の力を活用したい」と述べ、進出の理由については、東京からのアクセスの良さと、人材の定着率の高さを挙げた。地元でアルバイト約80人を雇用し、12月から本格的に業務を始める。</p> |
| 8 | <p><b>八戸港貿易額 前年同月比36.1%増で、8ヶ月連続の伸び</b></p> <p>八戸税関支署は11月22日までに、八戸港の10月の貿易概況をまとめた。輸出と輸入を合わせた貿易額は前年同月比36.1%増の292億9100万円で、8ヶ月連続の伸びとなった。輸出額は41.1%増の129億3700万円で2ヶ月ぶりのプラス。ケミカルタンカーなど船舶類や、トナーカートリッジなど一般機械が好調だった。輸入額は32.4%増の163億5400万円で7ヶ月連続の増加。他港で荷揚げした分も一括で通関した肥料のほか、亜鉛鉱やニッケル鉱などが伸びた。</p>                         |
| 9 | <p><b>マネックス証券八戸事業所 40人増で120人体制へ</b></p> <p>ネット証券大手のマネックス証券(東京)の松本大社長は、八戸市内に構える事業所について、2年後をめどに従業員を約40人増やして120人規模とする考えを明らかにした。同社は八戸インテリジェントプラザに「八戸コンタクトセンター」と「八戸事務センター」を置き、計80人のスタッフが金融商品に関する問い合わせへの対応、新規証券口座開設の事務作業などに当たっている。「(株式の)マーケットが活況にある」ことなどが理由で、八戸の規模拡大に取り組む。</p>                                    |

【 地 域 】

| No. | レポート   |
|-----|--|
| 10  | <p><b>「女性を議会へ！ 全国キャラバン」シンポジウム マリエントで開催</b></p> <p>女性の政治参加の促進を目指す「市川房枝記念会女性と政治センター」(東京都)は11月3日、八戸市水産科学館マリエントで「女性を議会へ！ 全国キャラバン」を開いた。センターは、女性活動家で元参院議員の市川の生誕120周年を記念し、4月から全国でフォーラムを開催。青森県の各議会に占める女性の割合が6.0%で、全国平均の11.4%を下回って全国ワースト3位と低迷していることから、4回目の開催地選ばれた。約50人が参加し、講演や県内女性議員による体験発表を通じ、政治参加の必要性に理解を深め、女性議員を増やす方策を探った。</p> |
| 11  | <p><b>八戸地区 新産業都市指定50周年祝賀会開催</b></p> <p>八戸商工会議所は、11月10日に八戸地区の新産業都市指定から50周年を記念した祝賀会を八戸プラザホテルで開いた。八戸地区は、八戸市など旧9市町村で構成。1964年に全国44カ所の候補地の中から選ばれた15地区の一つとして指定を受けた。関係する法律が廃止となった2001年までに、国から2兆円以上が投じられ、港湾設備や工業地帯、郊外型団地などの整備につながった。地元企業や団体関係者ら約160人が、半世紀の節目を祝うとともに、産業のさらなる発展へ決意を新たにした。</p>                                       |

|    |   |
|----|---|
| 12 | <p><b>全国水産加工品総合品質審査会 武輪水産「しめさば青森県産特大」農水大臣賞</b></p> <p>今年の全国水産加工品総合品質審査会で、八戸市の武輪水産が製造・販売する「しめさば青森県産特大」が、最高位の農林水産大臣賞に輝いた。「しめさば青森県産特大」は八戸港に水揚げされたサバのうち、製品重量が200グラム以上となる大型で、脂の乗りの良いマサバを使用。人口甘味料などを使わない自然な味付けで、魚本来のうまさが引き出されている。同社は2011年にも同賞を受賞しており、3年ぶり2回目の受賞となった。</p>               |
| 13 | <p><b>「みろく横丁」限定 “ホッキせんべい汁” 開発中</b></p> <p>「屋台村のみろく横丁で買えるお土産がない」との観光客の声をきっかけに、オリジナルせんべい汁の開発が進んでいる。店主らが試食を重ね、三沢沖で採れたホッキガイを使った塩味の「ホッキせんべい汁」を試作。出来上がったのは、メカブや食用菊、ナガイモ、大葉、糸こんにゃく、長ネギなど地場産品をふんだんに入れた一品で、ホッキガイは身だけではなく、肝も使用した。各店で提供しているメニューとは別に、レトルトのお土産品として来春からみろく横丁限定で売り出す考えである。</p>   |
| 14 | <p><b>津波で漂着した大久喜漁港の鳥居 米国より返還へ</b></p> <p>東日本大震災の2年後、米国オレゴン州の海岸に流れ着いた鳥居が、7千キロを隔てた八戸市の大久喜漁港から津波で流失したものと分かり、このたび返還されることになった。オレゴン州の海岸に昨年3月と4月に、横幅約4.5メートルの「笠木(かさぎ)」と呼ばれる鳥居の上部だけが、相次ぎ漂着。発見者に日本滞在経験があったことなどから廃棄を免れていた。保管していた米国関係者らがこのたび来日し、「何千キロも離れた地に、人と人のつながりができてうれしい」と感激していた。</p>  |
| 15 | <p><b>ワイン産業創出フォーラム開催 八戸のブドウ栽培の課題を探る</b></p> <p>八戸市は11月24日、八戸グランドホテルで「八戸ワイン産業創出フォーラム」を開いた。市民約140名が参加。南郷地区でのワイン用ブドウの栽培に向け、スイス在住で2013年世界最優秀ソムリエのパオロ・バッソさん、俳優で日本ソムリエ協会名誉ソムリエの辰巳琢郎さん、八戸ワインフェスティバル実行委員長の澤内昭宏さんら有識者が課題を探るとともに、トークセッションを行い、産地化による経済、文化の発展に期待を込めた。</p>                  |
| 16 | <p><b>～種差海岸に名物土産を～ 種差小の児童らがお菓子づくりに挑戦</b></p> <p>八戸市立種差小の全校児童30人が、学区内にある三陸復興国立公園の種差海岸をテーマとしたお菓子作りに取り組んでいる。岩をイメージしたパイ、コンブを使った海藻マドレーヌなど5種類を商品化に向けて試作した。児童らは自由な発想からさまざまなアイデアを出し、「種差海岸をもっと有名にするために役に立ちたい」「買った人がもう一度来てくれるような、代表的なお土産にしたい」と張り切っている。一部は本年度中の商品化を目指す。</p>  |

| No. | レポート   |
|-----|--|
| 17  | <p><b>「科学の甲子園」八戸高Aチームが初優勝 全国大会出場へ</b></p> <p>「科学の甲子園」青森県大会が11月8日に青森市で開かれ、7校の13チームが難問に挑んだ。「科学の甲子園」とは、科学好きな高校生の裾野を広げるとともに、トップ層を伸ばすことを目指して行われる大会で、将来の理数研究を担う人材の育成などを目的に、2011年から毎年開催している。チームは6～8人で編成。筆記競技では、物理や化学、生物など6科目で知識を競った。実験競技は物理分野から出題され、生徒たちは、真剣な表情で問題に取り組んでいた。審査の結果、八戸高校Aチームが初優勝に輝き、来年3月に茨城県で開催される全国大会に出場する。</p>                               |
| 18  | <p><b>八戸前沖さばアイデア料理コンテスト 長瀬さん「旨みリゾット」グランプリ</b></p> <p>八戸前沖さばブランド推進協議会主催の「第8回八戸前沖さばアイデア料理コンテスト」が11月9日、八食センターで開かれた。審査の結果、南郷区島守の調理師長瀬光司さんが主食部門に出品した「サバのまるごと旨みリゾット 炙(あぶり)サバと旬野菜を添えて」がグランプリに輝いた。八戸前沖さばを使用した創作料理のアイデアを競うコンテストで、主食、おつまみ・総菜、スイーツの3部門に、市内外から78点が寄せられた。</p>  |
| 19  | <p><b>自動車整備グランプリ 塗装部門で八戸の柳沢さんが全国3位!</b></p> <p>自動車整備技術者の日本一を決める「BP(ボディーペイント)グランプリ」決勝大会に出場した、八戸市の整備会社「カーショップ日向」の柳沢教之さんが、塗装部門で全国3位に輝いた。同グランプリは塗装、钣金、見積りなどの3部門でそれぞれ日本一を決めるもので、2回目となる今回は全国から1221人が参加。塗装部門には全国から勝ち上がった10人が出場し、筆記と実技の合計点を競った。青森県初出場での快挙に、柳沢さんは「自分でもびっくりしているが、貴重な経験になった」と喜んでいる。</p>   |
| 20  | <p><b>ユートリー新商品人気コンテスト 「八戸さばスパイシーマリネハム」が1位</b></p> <p>八戸地域地場産業振興センターが、来場者の投票で順位を決める「新商品人気コンテスト」の投票結果を発表した。1位には八戸産サバをスパイスで味付けしスモークの風味を加え、洋風に仕上げた「八戸さばスパイシーマリネハム」(武輪水産)が輝いた。2位はスイートポテトに三戸産リンゴ「紅玉」の甘酸っぱさを加えた「青森アップルポテト」(デコール)、3位は化学調味料を使わず無添加にこだわった「八戸美保野ポーク腸詰」(美保野グリーン牧場)だった。</p>   |
| 21  | <p><b>長根リンクで製氷作業開始 夜を徹して純度の高い氷作り</b></p> <p>長根リンクで11月23日夜、製氷作業が始まった。職員は放水作業を一晩に10回行い、厚さ1センチの氷を作る。これを4日間繰り返し、最終的に4センチの厚さに仕上げる。気温が高い影響で予定より2日遅れでの作業開始だったが、29日のオープンに向け、夜を徹して良質な氷作りに精を出した。同リンクの営業は来年3月1日まで。毎週土曜日は無料開放となる。</p>  |
| 22  | <p><b>八戸オリジナルアニメ「はちのへごっこ「ハマネコ」」完成</b></p> <p>八戸の魅力を内外に発信するアニメーション作品「はちのへごっこ『ハマネコ』」が完成し、11月27日に「はっち」でお披露目の上映会が開かれた。作品は、都内在住の映像作家・大島亜佐子さんが約1年かけて制作した。主題歌は、八戸高校卒の歌手坂本サトルさんが作曲、演奏。アニメーションにも南部裂織を用いるなど、随所に八戸の要素を盛り込んだ。多くの市民が出演した地域密着型の作品で、12月上旬に、動画サイトや市内の公共施設で公開される予定。</p>   |

【 県 内 】

| No. | レポート   |
|-----|--|
| 23  | <p><b>青森県産米新品種 「青天の霹靂（へきれき）」に名称決定</b></p> <p>日本穀物検定協会の食味最高ランク「特A」獲得を目指す、2015年度デビューの青森県産米新品種・青系187号について、三村申吾知事は、名称を「青天の霹靂（へきれき）」に決定したと発表した。名付けた理由については「青森の天から降り注ぐ自然からできた、青天の霹靂のような驚くほどおいしいコメをイメージした」と説明。県が農業発展の“起爆剤”として期待を込める新品種の名称が決まり、デビューに向けた動きが本格化する。</p>   |
| 24  | <p><b>東北6県で大規模な防災訓練 「みちのくALERT2014」実施</b></p> <p>東日本大震災レベルの災害に備え、自衛隊や東北6県の自治体などが参加する大規模な防災訓練「みちのくALERT(アラート)2014」が11月6～9日で、宮城県を中心に実施された。訓練は東日本大震災級の大災害発生を想定。八戸市の海上自衛隊第2航空群は、P3C哨戒機による東北地方太平洋沿岸の偵察飛行を報道陣に公開。地震発生の想定時刻から1時間弱で八戸航空基地を飛び立ち、津波被害を受けた岩手・宮城沿岸の状況を刻々と地上に伝えた。また、国内では初めて米軍とオーストラリア軍も加わり、米軍の新型輸送機MV22オスプレイ2機が東北に初飛来し、けが人搬送や物資輸送に当たった。</p> |
| 25  | <p><b>障がい者雇用 最多2592人 11年連続で増加</b></p> <p>青森労働局が発表した県内の障がい者雇用状況によると、従業員50人以上の民間企業で働く障がい者が6月1日現在、2592人(前年比5.09%増)と11年連続で増加し、1977年以降で最も多くなったことが分かった。実雇用率は1.83%(0.05ポイント増)と改善したが、法定雇用率の2.0%を下回った。同労働局は「企業の理解が進むとともに景気の回復基調を受けて雇用者数が伸びた。全企業が法で定める雇用率を満たすよう、厳正に指導したい」としている。</p>  |
| 26  | <p><b>県内私立中高生調査 学費滞納2.8% 増加傾向で推移</b></p> <p>県内の私立中学校、高校で、学費を3カ月以上滞納している生徒の割合が9月末現在、2.8%に上がることが分かった。国の就学支援金や県の授業料・学費の減免制度が始まった2010年度以降で最も多かった。県内では低所得世帯から就学する生徒の割合が全国で最も高いことから、全国私教連に加盟する県私立学校教職員組合連合は「就学支援金の減額などで学習に意欲的な生徒たちが進学を断念することがないように、行政の支援が必要だ」と強調している。</p>  |
| 27  | <p><b>火山予地連が緊急提言 常時監視対象火山の観測態勢強化へ</b></p> <p>観測態勢の在り方を議論する火山噴火予知連絡会の検討会は、常時監視対象の火山について水蒸気爆発の可能性も考慮し、火口付近に監視カメラを設置するなど、観測態勢の強化を気象庁に求める緊急提言を示した。この常時監視対象の47火山に、八甲田山(青森)、十和田(青森、秋田)も追加するように求めた。同庁は正式に選定が決まれば、地震計や遠望カメラなどを整備する予算措置を講じる方針。ただ、機器の確保や設置場所の選定などにも時間を要するため、観測開始時期は見通せないのが現状である。</p>   |